

---

# 平成 30 年度予算資料

---

松 本 市

# 目 次

1	各部当初予算のポイント	
(1)	総務部	1
(2)	政策部	3
(3)	財政部	5
(4)	危機管理部	7
(5)	地域づくり部	9
(6)	文化スポーツ部	11
(7)	環境部	13
(8)	健康福祉部	15
(9)	こども部	17
(10)	農林部	19
(11)	商工観光部	21
(12)	建設部	23
(13)	上下水道局	25
(14)	病院局	27
(15)	教育部	29
2	平成 30 年度 国・地方・松本市の予算	
(1)	平成 30 年度 国の予算	31
(2)	平成 30 年度 地方財政収支見通しの概要	32
(3)	地方税制改正（案）の概要	34
(4)	地方消費税率引上げ分の状況（松本市・平成 30 年度当初予算）	36
3	平成 30 年度市税一覧	37
4	地方交付税	39
5	市債	41
6	使用料・手数料及び貸付料の改定状況	43
7	人件費（一般会計）	45
8	国民健康保険事業	47
9	後期高齢者医療事業	51
10	介護保険事業	
(1)	第 7 期介護保険事業計画	52
(2)	介護保険特別会計の構成	55
(3)	地域支援事業費の主な強化内容	57
11	交通安全施設整備事業	58
12	道路橋りょう新設改良事業	60
13	街路整備事業	65

# 総務部 平成30年度当初予算のポイント

## 1 予算額（一般会計）

(単位:千円、%)

30年度当初予算額	29年度当初予算額	増減額	増減率
3,211,960	4,046,050	834,090	20.6

人件費を除く額

## 2 「健康寿命延伸都市・松本」の推進施策

### (1) 平和を創る事業の推進

全世代に平和の連鎖を広げるため、これまでの平和推進事業を継続するとともに、若い世代による平和を創る取組みを推進します。

### (2) ICTを活用した行政サービスの向上と地域情報化の推進

証明書のコンビニ交付サービスの拡大等により、行政サービスの向上を図るとともに、公共施設へのWi-Fi整備等により地域情報化の取組みを推進します。

### (3) 男女共同参画の推進

性別の違いによる偏見や権利侵害のない、男女が対等の立場で活躍できる社会を実現するための取組みを推進します。

## 3 第10次基本計画に掲げた「5つの重点目標」の主な取組み

(新規事業、拡充事業、子ども・若者対象事業) (単位:千円)

担当課	中事業名 (事務事業名)	区分	予算額				事業内容
			項目	H30	H29	比較	
1 人権・男女共生課	5つの重点目標		重点目標	経済の好循環の創出			仕事と家庭の両立を図りながら働くための企業の体制づくりを支援するため、企業セミナー、企業訪問による相談、従業員セミナー、従業員カウンセリングを行うとともに、必要に応じて就業規則等の改正を支援するもの
	【総務費】	歳出額 (特財)	5,500 (2,750)	5,440 (2,720)	60 (30)	両立支援プログラム策定企業数 8社	
	男女共同参画推進費 〔仕事と家庭の両立支援事業〕	現在値 (H28)	両立支援プログラム策定企業数		70社		

## 4 主要事業

( 新規事業、 拡充事業、 子ども・若者対象事業) (単位:千円)

担当課	中事業名 (事務事業名)	区分	予算額			事業内容
			項目	H30	H29	
<b>(1) 平和を創る事業の推進</b>						
2 平和推進課	【総務費】 平和推進事業費	歳出額 (特財)	7,690 (520)	7,220 (480)	470 (40)	平和祈念式典、小中学生平和ポスター展、広島平和記念式典参加のほか、地域や市民団体が行う平和活動への補助などを通じて平和事業を進めるもの [松本コース平和ネットワーク] メンバーの拡大、有識者を招いた学習会などの事業を行うもの
		現在値 (H28)	平和について考える取組みが行われている地域であると思う市民の割合47.3%			
		目標値 (H32)	平和について考える取組みが行われている地域であると思う市民の割合54.0%			

<b>(2) ICTを活用した行政サービスの向上と地域情報化の推進</b>						
3 情報政策課	【総務費】 情報化推進費 〔公共施設・公共Wi-Fi整備〕	歳出額 (特財)	35,490 (29,280)	0 (0)	35,490 (29,280)	公共施設利用者の利便性などの向上や、災害時の情報収集・発信避難所環境の充実を図るため、インターネットにパソコンやタブレット等を無料接続できる情報通信環境を整備するもの [整備箇所] ・地区公民館35館 ・勤労者福祉センター
		現在値 (H29)	公共Wi-Fi整備済施設 0施設 (H30新規事業)			
		目標値 (H30)	公共Wi-Fi整備済施設 36施設			
4 情報政策課	【総務費】 第2次業務システム最適化事業費 〔テレワーク推進事業〕	歳出額 (特財)	780 (0)	0 (0)	780 (0)	働き方の多様化及びワークライフバランスを実現するため、テレワークの導入に必要な環境を構築するとともに、タブレット端末の更なる活用として電子会議の拡大を図るもの
		現在値 (H29)	テレワークを利用する職員数 0人 (H30新規事業)			
		目標値 (H31)	テレワークを利用する職員数 500人			
5 市民課	【総務費】 社会保障・税番号制度関係費 (マイナンバー制度の運用開始に伴う証明書類のコンビニ交付)	歳出額 (特財)	18,810 (0)	15,530 (0)	3,280 (0)	個人番号カードを利用したコンビニ交付サービスに、本市に本籍地がある市外在住者が戸籍謄抄本を取得できるように「本籍地証明書交付サービス」を追加導入するもの
		現在値 (H29)	「本籍地証明書交付サービス」 利用登録者数 0人(H30新規事業)			
		目標値 (H31)	「本籍地証明書交付サービス」 利用登録者数 300人			

<b>(3) 男女共同参画の推進</b>						
6 人権・男女共生課	【総務費】 女性センター事業費 (女性弁護士相談)	歳出額 (特財)	540 (0)	540 (0)	0 (0)	女性の日常生活の中で生じた問題に関して、同性である女性弁護士が法律的な観点からの助言や指導を行うことにより女性の生き方を支援し、個人が持つ能力を十分に発揮できる男女共同参画社会を推進するもの
		現在値 (H28)	年間相談件数 46件			
		目標値 (H32)	年間相談件数 96件			

# 政策部 平成30年度当初予算のポイント

## 1 予算額（一般会計）

（単位：千円、％）

30年度当初予算額	29年度当初予算額	増減額	増減率
183,500	183,750	250	0.1

人件費を除く額

## 2 「健康寿命延伸都市・松本」の推進施策

### (1) 民間事業者主導による「健康寿命延伸都市・松本」の創造の推進

「健康寿命延伸都市・松本」の創造を目的とした事業を対象に、クラウドファンディングの活用を支援し、民間事業者の産業創発を後押しします。

### (2) 国際交流の推進

姉妹都市をはじめ、海外の都市に青少年の派遣及び受入れの機会をつくり、相互の文化に対する理解を深め、地域の国際化に貢献し得る人材の育成を図ります。

## 3 第10次基本計画に掲げた「5つの重点目標」の主な取組み

（新規事業、拡充事業、子ども・若者対象事業）（単位：千円）

担当課	中事業名 （事務事業名）	区分	予算額				事業内容
			項目	H30	H29	比較	
1 政策課	5つの重点目標		重点目標	将来世代のためのハード整備			
	【総務費】		歳出額 (特財)	540 (0)	460 (0)	80 (0)	現在の市役所庁舎は、躯体・設備ともに老朽化が進んでいることから、来庁者の安全・安心を確保し、より利便性と満足度の高い行政サービスを提供するため、新庁舎の建設計画を進めるもの ・H29～30年度 基本構想策定 ・H30年度～ 基本計画策定に着手 【債務負担行為】18,670千円（基本計画策定・PFI等導入可能性調査）
	新庁舎建設事業費 (基金積立金除く)	現在値 (H29)	現在地を建設場所に決定。市民意見を聴取しつつ、基本構想策定に着手				
	目標値 (H37)	新庁舎の供用開始					
2 政策課	5つの重点目標		重点目標	将来世代のためのハード整備			
	【総務費】		歳出額 (特財)	21,760 (0)	21,800 (0)	40 (0)	信州まつもと空港の活性化を目的に、広報活動等の実施や県と連携し、チャーター便による国内・国際線の新規就航の開拓、既存路線の拡充を図るため、ネーミングライツ等の運航支援を行うもの [H29年度の就航状況] 福岡線：2往復4便、札幌線：1往復2便 大阪線：(季節運航)1往復2便
	県営空港対策事業費 〔信州まつもとと空港 運航支援事業〕	現在値 (H29)	信州まつもとと空港就航便数 8便/日				
	目標値 (H30)	信州まつもとと空港就航便数 10便/日					

#### 4 主要事業

( 新規事業、 拡充事業、 子ども・若者対象事業) (単位:千円)

担当課	中事業名 (事務事業名)	区分	予算額			事業内容	
			項目	H30	H29		比較
<b>(1) 民間事業者主導による「健康寿命延伸都市・松本」の創造の推進</b>							
3 政策課	【総務費】 クラウドファンディング活用促進事業費		歳出額 (特財)	3,660 (0)	0 (0)	3,660 (0)	民間事業者主導による「健康寿命延伸都市・松本」の創造を推進するため、クラウドファンディング(インターネットを通じて不特定多数の個人から投資を募る手法)の活用を支援し、民間事業者の産業創発を後押しするもの
			現在値 (H29)	支援活用による組成件数 0件 (H30新規事業)			
			目標値 (H30)	支援活用による組成件数 3件			
<b>(2) 国際交流の推進</b>							
4 都市交流課	【総務費】 国際交流推進費 (台湾高雄市音楽教育訪問団受入)		歳出額 (特財)	2,260 (0)	4,580 (0)	2,320 (0)	「健康・福祉・教育分野に関する覚書」に基づく青少年の交流を着実に進めるとともに、人的交流、民間交流、経済交流へと繋げていくため、引続きチャーター便の運航を目指し取り組むもの
			現在値 (H28)	交流事業数 4事業			
			目標値 (H31)	交流事業数 5事業			
5 都市交流課	【総務費】 国際交流推進費 (グリンデルワルト村中学生ホームステイ訪問事業)		歳出額 (特財)	8,290 (0)	0 (0)	8,290 (0)	地域を担う青少年の交流・育成をはかるため、両市村の中学生等を相互に派遣し、ホームステイ等を行うもの (3年に1度実施)
			現在値 (H28)	両市の交流事業参加者数 390人			
			目標値 (H32)	両市の交流事業参加者数 500人			

# 財政部 平成30年度当初予算のポイント

## 1 予算額（一般会計）

(単位:千円、%)

30年度当初予算額	29年度当初予算額	増減額	増減率
11,038,060	11,625,660	587,600	5.1

人件費を除く額

## 2 「健康寿命延伸都市・松本」の推進施策

### (1) 公共施設マネジメントの推進

公共施設の効率的・効果的な維持管理を実現するため、施設の集約化・複合化・老朽化対策等を推進します。

## 3 第10次基本計画に掲げた「5つの重点目標」の主な取組み

(新規事業、拡充事業、子ども・若者対象事業) (単位:千円)

担当課	中事業名 (事務事業名)	区分	予算額				事業内容
			項目	H30	H29	比較	
1 契約管財課	5つの重点目標		重点目標	将来世代のためのハード整備			健全で持続可能な行財政運営を確立するため、施設にかかるコストや利用実態に関するデータを開示し、問題意識や情報を市民と共有しながら、計画的・長期的な視点を持って公共施設保有量の縮減を図るもの
	【総務費】	歳出額 (特財)	2,230 (0)	9,430 (0)	7,200 (0)		
	公共施設マネジメント費	現在値 (H29)	施設総量 2.2%削減				
		目標値 (H30)	施設総量 3.0%削減				

#### 4 主要事業

( 新規事業、 拡充事業、 子ども・若者対象事業) (単位:千円)

担当課	中事業名 (事務事業名)	区分	予算額			事業内容	
			項目	H30	H29		比較
<b>(1) 公共施設マネジメントの推進</b>							
2	【総務費】 財産管理費 〔公共施設等総合管理計画に基づく施設 廃止事業〕	契約 管財課	歳出額 (特財)	157,000 (0)	616,060 (553,400)	459,060 ( 553,400)	「公共施設等総合管理計画」に基づき、不要となった施設のうち、老朽化が進み転用困難な建物を計画的に解体するもの [ H30年度解体施設 ] 13施設 3,187.41㎡ ( 松本城大手門駐車場北棟の解体を除く )
			現在値 (H29)	解体施設延床面積 22,709.06㎡ (削減率2.1%)			
			目標値 (H30)	解体施設延床面積 30,876.22㎡ (削減率2.9%)			
3	【総務費】 庁舎管理費 〔大手事務所非常用 電源確保事業〕	契約 管財課	歳出額 (特財)	8,510 (0)	0 (0)	8,510 (0)	業務継続計画BCPに基づき、大手事務所の災害時優先業務を実施するために必要となる環境整備を図るもの
			現在値 (H29)	配備進捗度 0%			
			目標値 (H30)	配備進捗度 100%			



# 危機管理部 平成30年度当初予算のポイント

## 1 予算額（一般会計）

(単位:千円、%)

30年度当初予算額	29年度当初予算額	増減額	増減率
3,231,330	2,614,790	616,540	23.6

人件費を除く額

## 2 「健康寿命延伸都市・松本」の推進施策

<b>(1) 消防団活動の充実強化</b>
地域防災の核となる消防施設・装備の整備を計画的に進め、団員確保対策を進めます。
<b>(2) 情報伝達手段の計画的整備</b>
災害時等に有効な情報伝達手段となる防災行政無線の整備と合併地区の老朽化した設備の更新を計画的に進めます。
<b>(3) 災害用備蓄食糧の充実</b>
災害対策用に備蓄している食糧について、クラッカー等の菓子類をパンへ切り替えることにより、避難者等に対する食糧の質の向上を図ります。

## 3 第10次基本計画に掲げた「5つの重点目標」の主な取組み

(新規事業、拡充事業、子ども・若者対象事業) (単位:千円)

担当課	中事業名 (事務事業名)	区分	予算額				事業内容
			項目	H30	H29	比較	
1 危機管理課	5つの重点目標		重点目標 健康ときずなづくり				災害時に政府及び全国各地から調達する大量の支援物資の受入れ、配送を効率的に行い、物資を滞留させない体制を構築するため、支援物資集積拠点を整備するもの ・H30年度 建築実施設計、造成工事 【債務負担行為】 129,770千円 (造成工事費)
	【総務費】	歳出額 (特財)	98,810 (49,100)	9,920 (0)	88,890 (49,100)	事業費進捗率 18.5%	
	災害時支援物資集積拠点整備事業費	現在値 (H29)					
		目標値 (H31)	平成31年度内の供用開始				
2 危機管理課	5つの重点目標		重点目標 健康ときずなづくり				地域における備蓄体制の強化を図るため、指定避難所である全ての小中学校に備蓄倉庫を整備するもの ・H30年度 15カ所に整備 (全45カ所に整備完了)
	【総務費】	歳出額 (特財)	52,910 (0)	53,730 (0)	820 (0)	備蓄倉庫設置小中学校 30校	
	防災関係費 〔備蓄倉庫整備事業〕	現在値 (H29)					
		目標値 (H30)	備蓄倉庫設置小中学校 45校				
3 消防防災課	5つの重点目標		重点目標 暮らしと生活の基盤づくり				特殊詐欺被害が一向に減少しないため、被害のきっかけとなっている電話機に対する物理的対策として、メッセージ機能、着信拒否機能、録音機能のある電話機を高年齢者世帯に貸与するもの (180台貸出予定)
	【総務費】	歳出額 (特財)	2,490 (1,240)	0 (0)	2,490 (1,240)	65歳以上の市内特殊詐欺被害 34件	
	防犯関係費 〔電話による特殊詐欺被害防止対策機器購入事業〕	現在値 (H29)					
		目標値 (H30)	65歳以上の市内特殊詐欺被害 26件				

#### 4 主要事業

( 新規事業、 拡充事業、 子ども・若者対象事業) (単位:千円)

担当課	中事業名 (事務事業名)	区分	予算額			事業内容	
			項目	H30	H29		比較
<b>(1) 消防団活動の充実強化</b>							
4	【消防費】 消防団員費 〔消防団装備整備事業〕		歳出額 (特財)	8,890 (0)	6,910 (0)	1,980 (0)	消防団員の活動時の安全確保のため、平成29年度から3年計画で、全団員に救助用半長靴、ケブラー手袋を配備するもの ・H30年度 中央、河西、南部ブロック
			現在値 (H29)	半長靴 633足 ケブラー手袋 348双			
			目標値 (H31)	全団員に配備			
5	【消防費】 単独消防団設備等整備事業費 〔消防団車両整備事業〕		歳出額 (特財)	70,110 (66,500)	80,040 (76,100)	9,930 ( 9,600)	消防力の維持向上のため、年次計画により消防団車両等の更新整備を図るもの 〔更新基準〕 車両22年、小型ポンプ15年 ・H30年度 ポンプ車2台、積載・軽積載車5台
			現在値 (H29)	車両 7台			
			目標値 (H30)	車両 7台			
6	【消防費】 単独消防団施設等整備事業費 〔消防団詰所等整備事業〕		歳出額 (特財)	204,040 (185,500)	49,890 (48,800)	154,150 (136,700)	建築から30年以上経過した消防団詰所等の改築や整備を行うもの 〔用地取得〕42分団(波田) 〔設計〕15分団(芳川)、41分団(波田)42分団(波田) 〔建築〕1分団(北深志)、26分団(中川)28分団(五常) 〔解体〕1分団(北深志)
			現在値 (H29)	設計3カ所、工事1カ所、解体2カ所			
			目標値 (H30)	用地1カ所、設計3カ所、工事3カ所			
<b>(2) 情報伝達手段の計画的整備</b>							
7	【総務費】 地域防災無線管理事業費 (梓川・波田地区の同報系行政無線の更新を含む)		歳出額 (特財)	470,870 (415,800)	56,040 (0)	414,830 (415,800)	緊急・災害情報等を的確かつ迅速に伝達するため、既存設備の老朽化している梓川・波田地区について、旧松本地区で運用中の同報系デジタル防災行政無線を拡張するもの
			現在値 (H29)	同報系デジタル防災行政無線人口カバー率 85%			
			目標値 (H30)	同報系デジタル防災行政無線人口カバー率 97%			
<b>(3) 災害用備蓄食糧の充実</b>							
8	【総務費】 防災関係費 〔備蓄食糧整備事業〕		歳出額 (特財)	3,160 (0)	1,960 (0)	1,200 (0)	災害発生時の流通機能の喪失等に備えて備蓄している非常用食糧について、クラッカー等の菓子類をパンへ切り替えるもの 〔全市分〕 50,500食(アルファ米、パン) 〔上高地孤立〕 15,000食(パン) (賞味期限5年のため、毎年1/5更新)
			現在値 (H29)	アルファ米 29,900食 クラッカー・ビスケット 30,400食			
			目標値 (H34)	アルファ米 25,500食 パン 40,000食			
<b>(4) その他事業</b>							
9	【総務費】 防犯関係費 〔第一地区防犯カメラ整備事業〕		歳出額 (特財)	7,390 (0)	0 (0)	7,390 (0)	防犯重点地区である第一地区防犯カメラの老朽化に伴い更新するもの 同時に松本駅前地区の犯罪・トラブル件数も依然として多いことから、地元町会及び松本警察署から要望を受け、カメラを増設するもの
			現在値 (H29)	設置数 3カ所			
			目標値 (H30)	設置数 8カ所(3台更新、5台増設)			

# 地域づくり部 平成30年度当初予算のポイント

## 1 予算額（一般会計）

(単位:千円、%)

30年度当初予算額	29年度当初予算額	増減額	増減率
421,210	443,590	22,380	5.0

人件費を除く額

## 2 「健康寿命延伸都市・松本」の推進施策

### (1) 第2次松本市地域づくり実行計画に基づく取組みの推進

第2次松本市地域づくり実行計画に基づき、様々な主体が、協働によって地域課題を解決する仕組みづくりや具体的な地域活動への支援を進めます。

### (2) 市民活動と協働の推進による地域づくりの推進

市民活動と協働を推進するための制度の構築やその活動を支援する市民活動サポートセンターの施設環境の整備を行います。

### (3) 市民生活総合相談体制の推進

複雑化・多様化する市民の困りごとに対し、庁内のハブ機関として調整するとともに、消費生活や生活困窮に関する相談と支援の体制を整えます。

## 3 第10次基本計画に掲げた「5つの重点目標」の主な取組み

(新規事業、拡充事業、子ども・若者対象事業) (単位:千円)

担当課	中事業名 (事務事業名)	区分	予算額				事業内容
			項目	H30	H29	比較	
1 地域づくり課	5つの重点目標		重点目標 健康ときずなづくり				住民が主体となって取り組む地域の課題解決や活性化、特色を活かした魅力ある地域づくりを具体的に推進していくために助成するもの
	【総務費】 地域づくり推進事業費	歳出額 (特財)	23,660 (0)	27,980 (0)	4,320 (0)		
	〔地域づくり推進交付金事業〕 〔地域振興事業補助金〕	現在値 (H29)	地域づくり推進交付金事業 交付金活用事業数 139件				
		目標値 (H30)	地域づくり推進交付金事業 交付金活用事業数 141件				
2 地域づくり課	5つの重点目標		重点目標 健康ときずなづくり				市民活動団体の立ち上げ資金や運営資金の低利融資を行っている「N.P. 夢バンク」への資金の貸付、市民の無償の労力提供による公共施設等の維持管理に対する原材料支給、職員及び市民の意識啓発・広報活動等を行うもの
	【総務費】 市民協働推進事業費	歳出額 (特財)	9,060 (0)	9,280 (0)	220 (0)		
		現在値 (H29)	市民労力提供に対する原材料支給事業 申請件数 17件				
		目標値 (H30)	申請件数 25件				
3 市民相談課	5つの重点目標		重点目標 健康ときずなづくり				生活困窮者の社会的及び経済的な自立を実現するために、生活困窮者自立支援法に基づく相談支援機関である「まいさぼ松本」の支援員が、同法関連事業を活用し、関係機関と連携しながら包括的かつ継続的な伴走型の支援を実施するもの 〔拡充〕人員体制の強化
	【民生費】 生活困窮者自立支援事業費	歳出額 (特財)	36,680 (26,030)	32,780 (23,100)	3,900 (2,930)		
	〔自立相談支援事業〕 〔住居確保給付金〕 他3事業	現在値 (H29)	新規相談者数 38.6名/月				
		目標値 (H30)	国のKPI(平成30年度) 新規相談者数 62.4名/月				

#### 4 主要事業

( 新規事業、 拡充事業、 子ども・若者対象事業) (単位:千円)

担当課	中事業名 (事務事業名)	区分	予算額			事業内容	
			項目	H30	H29		比較
<b>(1) 第2次松本市地域づくり実行計画に基づく取組みの推進</b>							
4	地域づくり課 【総務費】 地域づくり推進事業費 〔地域づくりインターンシップ戦略事業〕		歳出額 (特財)	35,880 (6,790)	34,510 (0)	1,370 (6,790)	松本大学と連携して、若者が大学での専門教育を受けながら地域の現場で活動することにより、地域の活性化などの地域づくりの推進と地域社会に貢献する人材の育成を行うとともに、地域での起業や就職を支援するもの 〔拡充〕事業期間を平成33年度まで延長
			現在値 (H29)	インターン 11人			
			目標値 (H30)	インターン 11人			
5	地域づくり課 【総務費】 町会関係費		歳出額 (特財)	148,620 (0)	148,640 (0)	20 (0)	市政運営のパートナーである町会への支援として、市町会連合会への補助、よりよい町会運営に向けての検討、地区町会連合会、単位町会への交付金の交付を行うもの
			現在値 (H29)	町会加入率 78.9%			
			目標値 (H30)	町会加入率 78.9% (現状維持)			
6	地域づくり課 【総務費】 地域おこし推進事業費 〔地域おこし協力隊事業〕		歳出額 (特財)	3,410 (0)	2,600 (0)	810 (0)	人口減少、高齢化が進む安曇・奈川地区で地域おこし協力隊等の制度を利用した人的支援を行い、地域の団体と連携し、地域づくりを推進していくためのコーディネート等を行うもの また、地域資源(風穴、木材、小水力発電、地域の特産物等)を活かした地域の活性化を目指すもの
			現在値 (H29)	安曇・奈川地区で活動中 地域おこし協力隊員 1名			
			目標値 (H31)	新たな産業の創出、地域力の維持強化を図り、任期満了後地区内に定住			
<b>(2) 市民活動と協働の推進による地域づくりの推進</b>							
7	地域づくり課 【総務費】 サポートセンター運営事業費		歳出額 (特財)	5,920 (0)	6,250 (0)	330 (0)	「市民活動サポートセンター」を市民活動の拠点施設として位置付け、市民活動団体の活動や研修の場として提供するもの。さらに、協働や市民活動に関わる各種相談、情報収集・提供、団体・人材育成のための各種講座、団体同士の連携強化のための交流会等の事業を実施し、市民活動の支援・促進を図るもの
			現在値 (H29)	サポートセンター登録団体数 311団体			
			目標値 (H30)	サポートセンター登録団体数 346団体			
<b>(3) 市民生活総合相談体制の推進</b>							
8	市民相談課 【商工費】 消費者保護事業費 消費者行政活性化事業費 〔消費者保護事業〕		歳出額 (特財)	11,480 (5,070)	10,580 (5,250)	900 (180)	市民が安心して豊かな消費生活を営むことができるように専門相談員を配置し、増加傾向にある消費生活相談に対応するもの。また、消費者教育による啓発、情報発信を行い、市民を消費者被害から守るとともに、消費者市民社会の構築に向けた取組みを実施するもの 〔拡充〕若年層向け啓発冊子の作成
			現在値 (H28)	出前講座等の年間実施件数 28回			
			目標値 (H30)	出前講座等の年間実施件数 42回			
9	市民相談課 【総務費】 相談業務費 広聴業務費 (人件費含む)		歳出額 (特財)	11,090 (0)	11,120 (0)	30 (0)	複雑化・多様化する市民の困りごとに寄り添い、庁内のハブ機関として総合的に調整するもの 横断的・包括的、継続的な庁内ネットワークを強化するとともに、関係機関へのネットワークを構築し、悩みを抱える市民を早期発見・支援するもの
			現在値 (H28)	ストレスや悩みを抱えたとき、相談できる所があると思う市民の割合 35%			
			目標値 (H32)	ストレスや悩みを抱えたとき、相談できる所があると思う市民の割合 38%			

# 文化スポーツ部 平成30年度当初予算のポイント

## 1 予算額（一般会計）

（単位：千円、％）

30年度当初予算額	29年度当初予算額	増減額	増減率
3,333,870	2,643,770	690,100	26.1

人件費を除く額

## 2 「健康寿命延伸都市・松本」の推進施策

### (1) 子ども・若者等の将来世代へ繋げる仕組みづくり

子どものころから多種多様な文化芸術やスポーツに触れる機会と発信の場を提供し、若手の育成・交流を図ります。

### (2) 文化芸術・スポーツ活動環境の整備

市民が日常的に文化芸術やスポーツに親しみ活動できる環境の整備を進めます。

### (3) 絆づくりと地域経済の活性化推進

文化芸術やスポーツの振興を通じて、地域の絆づくりや地域経済の活性化を推進します。

## 3 第10次基本計画に掲げた「5つの重点目標」の主な取組み

（新規事業、拡充事業、子ども・若者対象事業）（単位：千円）

担当課	中事業名 （事務事業名）	区分	予算額				事業内容
			項目	H30	H29	比較	
1 スポーツ推進課	5つの重点目標		重点目標 健康ときずなづくり				スポーツによる「健康寿命延伸都市・松本」の確かな実現、松本市の魅力の発信、交流人口の拡大による地域活性化とコミュニティづくりの推進を図るため、松本マラソンを開催するもの [開催予定日]平成30年9月30日
	【総務費】	歳出額 (特財)	88,180 (88,180)	91,870 (0)	3,690 (88,180)		
	負担金 (松本マラソン)	現在値 (H29)	募集定員・マラソンの部 10,000人 ・ファミリーランの部 250組				
		目標値 (H30)	募集定員・マラソンの部 10,000人 ・ファミリーランの部 250組				
2 スポーツ推進課	5つの重点目標		重点目標 経済の好循環の創出				松本山雅FCの集客力・求心力を活かし、地域振興や中心市街地への誘客等につなげ、地域活性化の推進を図るもの また、プロスポーツの活用により、市民の健康増進や交流、スポーツ振興を図る事業を行うもの [拡充]地域交流活動促進事業に信州ブレイブウォリアーズを活用した事業を追加
	【総務費】	歳出額 (特財)	11,160 (0)	12,290 (0)	1,130 (0)		
	プロスポーツ振興事業費	現在値 (H28)	パブリックビューイング観戦者数 1,734人				
		目標値 (H32)	パブリックビューイング観戦者数 2,300人				

#### 4 主要事業

( 新規事業、 拡充事業、 子ども・若者対象事業) (単位:千円)

担当課	中事業名 (事務事業名)	区分	予算額			事業内容	
			項目	H30	H29		比較
<b>(1) 子ども・若者等の将来世代へ繋げる仕組みづくり</b>							
3	文化振興課 松本城世界遺産推進事業費	【総務費】	歳出額 (特財)	8,210 (8,210)	13,280 (13,280)	5,070 ( 5,070)	松本城の恒久的な保存と市民の文化財保護意識の醸成及び地域産業の活性化を図るため、松本城の世界遺産登録に向けて必要な調査研究を進めるもの また、「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会と連携して市民挙げての普及啓発活動に取り組むもの
			現在値 (H28)	市民への拡がり 2%			
			目標値 (H32)	市民への拡がり 50%			
4	国際音楽祭推進課 国際音楽祭事業費 (セイジ・オザワ松本フェスティバル)	【総務費】	歳出額 (特財)	185,850 (0)	185,760 (0)	90 (0)	「音楽とスポーツ都市宣言」を掲げ、国際都市・音楽都市を標榜する本市の本格的な実践活動として「サイトウ・キネン・オーケストラ(指揮:小澤征爾)」を主体とした「国際音楽祭」を開催するもの
			現在値 (H28)	OMFを鑑賞して自分も文化・芸術活動をやってみたいと思った人の割合 71%			
			目標値 (H32)	OMFを鑑賞して自分も文化・芸術活動をやってみたいと思った人の割合 75%			
<b>(2) 文化芸術・スポーツ活動環境の整備</b>							
5	文化振興課 まつもと市民芸術館大規模改修事業費	【総務費】	歳出額 (特財)	1,239,340 (1,169,100)	0 (0)	1,239,340 (1,169,100)	市民芸術館を適切に運営するため、舞台・施設設備及び建築物等の老朽化、経年劣化及び破損などについて、「市民芸術館中・長期修繕計画」に基づき、開館15年目となる平成30年度から3力年で舞台設備関係を中心とした大規模改修工事を実施するもの
			現在値 (H28)	来館者及び事業参加者数 251,109人			
			目標値 (H32)	来館者及び事業参加者数 220,000人			
6	スポーツ推進課 四賀運動広場整備改修事業費	【総務費】	歳出額 (特財)	225,850 (169,300)	446,440 (334,800)	220,590 ( 165,500)	四賀運動広場(昭和51年開場)を中規模程度の野球大会が開催できるグラウンドとして改修するもの
			現在値 (H28)	利用者数 8,582人			
			目標値 (H32)	利用者数 29,000人			
<b>(3) 絆づくりと地域経済の活性化推進</b>							
7	文化振興課 文化振興推進費 (信州・まつもと大歌舞伎市民活動事業)	【総務費】	歳出額 (特財)	10,000 (0)	0 (0)	10,000 (0)	信州・まつもと大歌舞伎市民活動事業のサポーターやキャストなどを通じて、参加者間の連帯や絆づくりを図るもの また、市民が主体的に企画運営する事業により、地域づくりや地域経済の活性化を図るもの
			現在値 (H28)	市民活動事業参加集客数 約17,000人 (本公演、登城行列、木ノ下歌舞伎除く)			
			目標値 (H32)	市民活動事業参加集客数 約18,700人 (本公演、登城行列、木ノ下歌舞伎除く)			
<b>(4) その他事業</b>							
8	スポーツ推進課 スポーツ振興事業費 〔松本市各種競技会、発表会等出場者祝金交付事業〕	【総務費】	歳出額 (特財)	4,600 (0)	4,600 (0)	0 (0)	ブロック大会以上の競技会、発表会等へ出場する市民に対し交付している祝金の要綱を見直すもの。出場者各人への交付という趣旨を強めて出場者のモチベーションを更に高め、文化・スポーツの更なる振興を図るもの 〔主な見直し内容〕 交付対象者の拡大、祝金単価の引き上げ、小中学生への交通費加算の廃止 等
			現在値 (H28)	競技会出場者祝金交付者数 1,227人			
			目標値 (H32)	競技会出場者祝金交付者数 1,300人			

## 環境部 平成30年度当初予算のポイント

### 1 予算額（一般会計）

(単位:千円、%)

30年度当初予算額	29年度当初予算額	増減額	増減率
2,246,270	2,216,330	29,940	1.4

人件費を除く額

### 2 「健康寿命延伸都市・松本」の推進施策

#### (1) 省エネルギー化と再生可能エネルギーの地産地消の推進

温室効果ガス排出量を削減するため、エネルギー使用量の削減や設備の高効率化を促すとともに、再生可能エネルギーの導入を支援します。

#### (2) 食品ロス削減事業の一層の推進

家庭や飲食店における食品ロス削減の取組みを一層推進するとともに、食べ物の「もったいない」をテーマとした絵本を作成して意識の向上を図ります。

#### (3) 新たな一般廃棄物処理計画に基づくごみの減量化

今年度新たに策定する、平成30年度から10年間の一般廃棄物処理計画に基づき、事業系ごみの削減など、ごみの減量化施策を進めます。

### 3 第10次基本計画に掲げた「5つの重点目標」の主な取組み

(新規事業、拡充事業、子ども・若者対象事業) (単位:千円)

担当課	中事業名 (事務事業名)	区分	予算額			事業内容
			項目	H30	H29	
1 環境政策課	5つの重点目標		重点目標 暮らしと生活の基盤づくり			
	【衛生費】 地球温暖化防止事業費 〔木質バイオマス熱利用推進事業〕	歳出額 (特財)	41,900 (25,860)	0 (0)	41,900 (25,860)	木質バイオマス熱利用の推進を図るため、竜島温泉せせらぎの湯にチップボイラーを導入し、燃料供給体制の構築を促すことで、民間事業者への普及を図るもの
		現在値 (H28)	チップボイラー導入施設数 0施設			
		目標値 (H31)	チップボイラー導入施設数 2施設			

### 4 主要事業

(新規事業、拡充事業、子ども・若者対象事業) (単位:千円)

担当課	中事業名 (事務事業名)	区分	予算額			事業内容
			項目	H30	H29	
<b>(1) 省エネルギー化と再生可能エネルギーの地産地消の推進</b>						
2 環境政策課	【衛生費】 地球温暖化防止事業費 〔住宅用温暖化対策設備設置推進事業〕	歳出額 (特財)	39,890 (0)	53,400 (0)	13,510 (0)	家庭部門における温室効果ガス排出量の削減を図るため、既存住宅に温暖化対策設備の導入等を行う市民に対し補助金を交付するもの また、国の補助制度が整備されたことから、新築住宅への太陽光発電設備及び蓄電設備の補助を廃止するもの
		現在値 (H28)	市域の温室効果ガス排出量削減比率 H19年度比 3.3%(H25年度値)			
		目標値 (H31)	市域の温室効果ガス排出量削減比率 H19年度比 15.7%(H28年度値)			

担当課	中事業名 (事務事業名)	区分	予算額			事業内容	
			項目	H30	H29		比較
<b>(2) 食品ロス削減事業の一層の推進</b>							
3	環境政策課	【衛生費】 環境基本計画推進事業費 〔食品ロス削減事業〕	歳出額 (特財)	3,190 (160)	2,790 (160)	400 (0)	「残さず食べよう! 30・10運動」を中心に、家庭と飲食店等において積極的な啓発活動を実施するもの ・全国大会を契機に発足した連絡会等を通じて、食べ残しの持ち帰りを促進 ・推進店・事業所認定制度の充実 ・松本山雅FCと連携したPR活動 他
			現在値 (H28)	30・10運動等協力店数 112店舗			
			目標値 (H31)	30・10運動等協力店数 200店舗			
4	環境政策課	【衛生費】 環境基本計画推進事業費 〔園児を対象とした環境教育事業〕	歳出額 (特財)	3,970 (2,020)	2,020 (0)	1,950 (2,020)	幼児期から環境意識を高めるため、園児等を対象に環境教育を実施するもの 〔内容〕 「食べ残し」と「ごみの分別」をテーマとした参加型環境教育を、保育園、幼稚園等で実施 〔新規〕 食品ロス削減啓発用絵本を作成
			現在値 (H28)	園児の意識変化の割合 48.5%			
			目標値 (H31)	園児の意識変化の割合 65.0%			
<b>(3) 新たな一般廃棄物処理計画に基づくごみの減量化</b>							
5	環境業務課	【衛生費】 ごみ減量対策事業費 〔事業系ごみ減量推進事業〕	歳出額 (特財)	720 (0)	530 (0)	190 (0)	事業系ごみの適正処理と減量・資源化を促進するため、ごみ収集業務のあり方検討会において現状分析し、集合住宅等の収集体制の見直しを図るもの ・排出実態の把握及び減量指導の実施 ・事業系ごみの分け方・出し方(手引書)の作成及び配付
			現在値 (H28)	ごみ総排出量 91,793t/年			
			目標値 (H31)	計画策定中(H29年度末までに策定)			
6	環境業務課	【衛生費】 塵芥埋立処理費 〔エコトピア山田延命化事業〕	歳出額 (特財)	7,580 (0)	1,330 (0)	6,250 (0)	エコトピア山田の今後のあり方を検討するため、構想案基礎調査業務を委託し、基礎調査の構想案ごとに比較するもの
			現在値 (H28)	市内最終処分場灰埋立量 5,869t/年			
			目標値 (H31)	市内最終処分場灰埋立量 3,000t/年			
<b>(4) その他事業</b>							
7	環境政策課	【衛生費】 災害廃棄物対策事業費 〔災害廃棄物処理計画策定事業〕	歳出額 (特財)	5,070 (0)	0 (0)	5,070 (0)	大規模災害に備え、災害時に発生することが想定される災害廃棄物の処理方針を明確化するため、新規に災害廃棄物処理計画を策定するもの
			現在値 (H28)	松本市地域防災計画の中で規定			
			目標値 (H31)	策定した災害廃棄物処理計画を地域住民に周知			
8	環境保全課	【霊園特別会計】 中山霊園第3次造成事業費	歳出額 (特財)	9,910 (0)	0 (0)	9,910 (0)	市民の墓地需要に応えるため、中山霊園に4㎡区画の墓所区画を新たに53区画造成するもの
			現在値 (H29)	第3次造成地墓所区画 1,024区画			
			目標値 (H30)	第3次造成地墓所区画 1,077区画			



# 健康福祉部 平成30年度当初予算のポイント

## 1 予算額（一般会計）

（単位：千円、％）

30年度当初予算額	29年度当初予算額	増減額	増減率
19,946,670	21,261,440	1,314,770	6.2

人件費を除く額

## 2 「健康寿命延伸都市・松本」の推進施策

### (1) 地域で安心して暮らし続けるための地域包括ケアシステムの構築

住民同士の支え合いを支援し、医療・介護及び生活支援などが切れ目なく提供される地域包括ケアシステムの構築を進めます。

### (2) 市民一人ひとりの心と体の健康づくり

適切な生活習慣を維持し、自ら進んで健康づくりに取り組む環境を整えるため、がんの早期発見、健全な食生活の実践、自殺予防対策などの施策を進めます。

### (3) 安心して出産・子育てできる支援体制の強化

妊娠期から子育て期までにおける支援策、相談体制の充実を図ることにより、安心して出産、子育てできる環境づくりを進めます。

## 3 第10次基本計画に掲げた「5つの重点目標」の主な取組み

（新規事業、拡充事業、子ども・若者対象事業）（単位：千円）

担当課	中事業名 （事務事業名）	区分	予算額				事業内容
			項目	H30	H29	比較	
1 福祉計画課	5つの重点目標		重点目標 健康ときずなづくり				
	【民生費】		歳出額 (特財)	2,980 (2,980)	0 (0)	2,980 (2,980)	住民同士の支え合いを推進するため、補助金交付対象へ、新たに地域福祉活動を行う団体及び福祉活動等の普及啓発を行う活動等を加えるもの [交付対象] 地域福祉活動事業 福祉活動周知啓発活動
	地域福祉活動推進事業費	現在値 (H29)	補助金利用団体数 (H30新規事業)	0団体			
		目標値 (H31)	補助金利用団体数	70団体			
2 高齢福祉課	5つの重点目標		重点目標 健康ときずなづくり				
	【介護保険特別会計】 総合相談事業費 包括的・継続的ケア マネジメント事業費 介護予防支援事業費 (地域包括支援センター機能強化)		歳出額 (特財)	236,240 (190,180)	177,210 (142,660)	59,030 (47,520)	地域包括ケアシステム構築の推進に向け、地域包括支援センターの職員を1名増員し、生活支援体制整備の推進や地域包括ケア会議による地域の課題を解決するための取組みを更に進めるもの
		現在値 (H29)	地域ケア会議等により、課題が解決に結びついた事例数	4事例			
		目標値 (H30)	地域ケア会議等により、課題が解決に結びついた事例数	24事例			
3 健康づくり課	5つの重点目標		重点目標 健康ときずなづくり				
	【衛生費】		歳出額 (特財)	2,790 (0)	0 (0)	2,790 (0)	胃がんのリスク原因であるヘリコバクター・ピロリ菌の有無を中学生の早期段階で検査し除菌治療につなげることで、将来の胃がん発症リスクの減少を図るもの
	健康増進対策費 (中学生ピロリ菌検査)	現在値 (H29)	ピロリ菌抗体検査実施者の割合 (H30新規事業)	0%			
		目標値 (H31)	ピロリ菌抗体検査実施者の割合	100%			

## 4 主要事業

( 新規事業、 拡充事業、 子ども・若者対象事業) (単位:千円)

担当課	中事業名 (事務事業名)	区分	予算額			事業内容	
			項目	H30	H29		比較
<b>(1) 地域で安心して暮らし続けるための地域包括ケアシステムの構築</b>							
4 福祉計画課	【民生費】 地域福祉計画推進事業費 〔地域福祉計画推進事業〕		歳出額 (特財)	350 (0)	2,750 (0)	2,400 (0)	地域包括ケアシステム推進事業で作成した支援ガイド等を各地区で活用し、住民主体による生活支援体制の構築推進を支援するとともに第3期地域福祉計画の推進を図るもの ・H30年度 住民学習会、ワークショップ等を行う際の講師、助言者等への報償費
			現在値 (H27)	高齢者のための環境やサービスが充実していると思う人の割合 56.7%			
			目標値 (H31)	高齢者のための環境やサービスが充実していると思う人の割合 60.0%			
5 高齢福祉課	【介護保険特別会計】 認知症地域支援推進事業費 〔認知症カフェ助成事業〕		歳出額 (特財)	630 (500)	0 (0)	630 (500)	認知症の方やその家族に対し、地域で支えるための体制づくりを支援するため、認知症カフェの開設及び運営に対する補助制度を新設するもの
			現在値 (H29)	カフェ設置数 14カ所			
			目標値 (H31)	カフェ設置数 28カ所			
<b>(2) 市民一人ひとりの心と体の健康づくり</b>							
6 健康づくり課	【衛生費】 がん検診推進事業費		歳出額 (特財)	270,770 (0)	272,650 (0)	1,880 (0)	松本市の死亡原因1位であるがんによる死亡を減少させるため、がん検診5か年計画に基づき、がん検診の受診率向上によるがんの早期発見等を目的に各事業を実施するもの ・H30年度～ 35歳女性を対象に乳がん超音波検診の無料クーポン事業を実施
			現在値 (H28)	乳がん検診受診率 20.2%			
			目標値 (H31)	乳がん検診受診率 24.8%			
7 健康づくり課	【衛生費】 自殺予防対策事業費		歳出額 (特財)	9,970 (5,610)	10,140 (5,380)	170 (230)	自殺予防対策推進計画に基づき、自殺予防対策推進協議会が中心となり、市民への啓発、相談体制の強化、身近な地域での見守り等総合的な対策を推進し、自殺予防に取り組むもの ・H30年度 子ども・若者世代への対策(SOSの出し方に関する教育として小中学校への出前講座をモデル実施)
			現在値 (H28)	気づき見守るための地域支援者育成数 2,043人			
			目標値 (H31)	気づき見守るための地域支援者育成数 2,300人			
8 健康づくり課	【衛生費】 食育推進事業費 〔第3期松本市食育推進計画推進事業〕		歳出額 (特財)	3,110 (0)	3,820 (0)	710 (0)	第3期食育推進計画に基づき、市民一人ひとりが自主的に豊かな食習慣を育めるよう、食に関わる活動をつなぎ、より取組みやすい食育の実践を推進するもの ・H30年度 新生活応援レシピ集を市内全中学卒業生、高校卒業時、新社会人及び二十歳を迎えた大学生に配布
			現在値 (H29)	自分に適した量とバランスがわかる市民の割合 61.3%			
			目標値 (H31)	自分に適した量とバランスがわかる市民の割合 65% (食育計画34年度目標値)			
<b>(3) 安心して出産・子育てできる支援体制の強化</b>							
9 健康づくり課	【衛生費】 少子化対策事業費 〔産後ケア事業〕		歳出額 (特財)	8,700 (4,350)	6,700 (3,340)	2,000 (1,010)	産後、安心して子育てできる支援体制を強化するため、産褥入院や産後ケア等の利用料の一部を補助するもの ・H30年度 産褥入院、産後ケアの利用期間延長 退院後30日 産後4カ月 母乳・育児相談の利用補助券交付 1,000円×3枚
			現在値 (H28)	こんにちは赤ちゃん事業で実施する産後うつ傾向陽性の割合 14.5%			
			目標値 (H31)	こんにちは赤ちゃん事業で実施する産後うつ傾向陽性の割合 14.2%			

# こども部 平成30年度当初予算のポイント

## 1 予算額（一般会計）

（単位：千円、％）

30年度当初予算額	29年度当初予算額	増減額	増減率
10,095,720	9,933,260	162,460	1.6

人件費を除く額

## 2 「健康寿命延伸都市・松本」の推進施策

### (1) 待機児童解消に向けたソフト・ハード整備

保育士の増配や保育補助者の配置などによる受入体制の整備のほか、保育園の改修や増築など、待機児童の解消に向けてスピード感を持って取り組みます。

### (2) 子育てしやすい環境のさらなる充実

病児保育事業の拡大や保育コンシェルジュの新規配置、放課後児童支援員の増員など、安心して子どもを預け働くことのできる環境づくりの拡充を進めます。

### (3) 子どもにやさしいまちづくりの推進

保育園・幼稚園へのエアコン整備による保育環境の改善や、食事・学習提供型の子どもの居場所づくりなど、子どもにやさしいまちづくりを推進します。

## 3 第10次基本計画に掲げた「5つの重点目標」の主な取り組み

（新規事業、拡充事業、子ども・若者対象事業）（単位：千円）

担当課	中事業名 （事務事業名）	区分	予算額				事業内容
			項目	H30	H29	比較	
1 こども育成課	5つの重点目標		重点目標 次世代を育むまちづくり				妊娠から出産、子育て期までの切れ目ない支援を行うため、南郷こどもプラザに市内3カ所目となる子ども子育て安心ルームを設置し、子育てコンシェルジュ1名を配置するもの （筑摩、小宮に続いて3人目）
	【民生費】	歳出額 （特財）	9,680 (6,440)	6,470 (4,300)	3,210 (2,140)		
	子育て支援センター運営事業費 （人件費含む） （子育てコンシェルジュ配置）	現在値 (H29)	子ども子育て安心ルーム 2カ所 子育てコンシェルジュ 2人				
		目標値 (H31)	子ども子育て安心ルーム 4カ所 子育てコンシェルジュ 4人				
2 保育課	5つの重点目標		重点目標 次世代を育むまちづくり				次代の社会を担う子どもが健やかに育つ環境整備の一環として、増加する未満児の受入需要に対応するため、既存園舎に未満児棟を増築するもの 【敷地面積】約1,054㎡(用地購入面積) 【床面積】約320㎡ 【構造】鉄骨造平屋建て 【債務負担行為】21,630千円
	【民生費】	歳出額 （特財）	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	島内保育園増築事業費	現在値 (H29)	3歳未満児定員数 48名				
		目標値 (H33)	3歳未満児定員数 96名(最大48名増)				
3 こども福祉課	5つの重点目標		重点目標 次世代を育むまちづくり				子どもの孤食や欠食を防ぐとともに、地域で子どもを見守り支えるための「子どもの居場所づくり」を推進するため、運営費を助成し、より多くの地域で取組みが広がるよう支援するもの 【拡充】 交付金対象事業の統合等
	【民生費】	歳出額 （特財）	1,590 (0)	1,990 (0)	400 (0)		
	子どもの未来応援事業費	現在値 (H29)	市内の食事・学習提供型居場所開設数 5カ所				
		目標値 (H30)	市内の食事・学習提供型居場所開設数 6カ所				

## 4 主要事業

( 新規事業、 拡充事業、 子ども・若者対象事業) (単位:千円)

担当課	中事業名 (事務事業名)	区分	予算額			事業内容	
			項目	H30	H29		比較
<b>(1) 待機児童解消に向けたソフト・ハード整備</b>							
4 保育課	【民生費】 保育園大規模改造事業費 (梓川東保育園)		歳出額 (特財)	233,080 (226,500)	167,350 (163,100)	65,730 (63,400)	建築後34年を経過した梓川東保育園の老朽化した施設・設備を改修するとともに、これに合わせて待機児童対策を進めるため、間取り変更により3歳未満児室の増床を図るもの ・H30年度 梓川東保育園 [改修概要] 屋根改修、トイレ改修、内外装改修 給排水設備改修 等
			現在値 (H29)	3歳未満児定員数 49名			
			目標値 (H31)	3歳未満児定員数 69名(約20名増)			
5 保育課	【民生費】 保育所管理運営費 (保育業務補助者配置)		歳出額 (特財)	28,770 (0)	0 (0)	28,770 (0)	各保育園に保育業務補助者(短時間パート)を配置し、保育士の業務負担軽減などの環境改善を図るもの [配置内容] 園児数、保育士数に応じて、各園1~2名を配置
			現在値 (H29)	保育業務補助者数 0人			
			目標値 (H30)	保育業務補助者数 51人			
<b>(2) 子育てしやすい環境のさらなる充実</b>							
6 こども育成課	【民生費】 病児・病後児保育事業費 〔病児保育事業〕		歳出額 (特財)	43,520 (28,500)	18,940 (12,360)	24,580 (16,140)	共働き世帯等がより子育てしやすい環境の充実を図るため、保護者の就労等の理由により生後5カ月から小学校3年生までの病中の児童を預かる病児保育室を拡充するもの [拡充] 2カ所(定員12名)を4カ所(定員28名)
			現在値 (H29)	2カ所 (H28 年間延利用者 1,361人)			
			目標値 (H30)	4カ所 (H30 年間延利用者 2,900人)			
7 こども育成課	【民生費】 人件費 児童館管理運営費 留守家庭児童対策費 〔児童館等職員処遇改善事業〕		歳出額 (特財)	594,230 (335,070)	528,060 (309,670)	66,170 (25,400)	共働き世帯の増加、核家族化の進展に伴い増加する利用児童の安全確保を図るため、職員を増員するとともに、処遇改善により安定的な人材確保を図るもの
			現在値 (H29)	5年以上勤務者の割合 51.8%			
			目標値 (H31)	5年以上勤務者の割合 60.0%			
<b>(3) 子どもにやさしいまちづくりの推進</b>							
8 保育課	【民生費】 保育所管理運営費 幼稚園管理運営費 (保育園・幼稚園空調設備借上料)		歳出額 (特財)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	子どもの体調管理及び生活環境の向上に加え、保育士の午睡時見守りの負担軽減を目的として、全保育園及び幼稚園の3歳以上児室及び保健室としての機能を有する事務室にエアコンを設置するもの 【債務負担行為】231,250千円
			現在値 (H29)	3歳以上児室のエアコン設置園 なし			
			目標値 (H30)	3歳以上児室のエアコン設置園 保育園10園、幼稚園3園			
9 こども福祉課	【民生費】 交通及び災害遺児等福祉金給付事業費		歳出額 (特財)	1,580 (1,580)	1,260 (1,260)	320 (320)	交通事故又は災害事故により父又は母を失った遺児等の福祉の増進に寄与するため福祉金を給付するもの [拡充] ・認定時福祉金(55,000円)を1世帯から児童数に変更 ・小・中学校入学時にそれぞれ一時金(100,000円)の支給を追加
			現在値 (H28)	給付実績 15世帯、児童25人 新規申請3件			
			目標値 (H30)	給付対象及び給付額の拡充による福祉増進			

# 農林部 平成30年度当初予算のポイント

## 1 予算額（一般会計）

(単位:千円、%)

30年度当初予算額	29年度当初予算額	増減額	増減率
1,904,430	1,815,880	88,550	4.9

人件費を除く額

## 2 「健康寿命延伸都市・松本」の推進施策

<b>(1) 農産物の高付加価値化による農業の活性化と需要の創出</b>
松本産農産物のブランド化を進めるとともに、インパクトのある商品開発への支援を通して、農業の活性化や新たな需要の創出を図ります。
<b>(2) 森林整備の推進と地域材の有効活用の促進</b>
森林の多面的な機能を発揮するための整備・保全と並行し、地域産材・間伐材の販路（利用）拡大に取り組み、豊かな森林を次世代に引き継ぐことを目指します。
<b>(3) 伝統野菜等のブランド化による地域振興</b>
信州の伝統野菜などの生産拡大や商品開発、PR活動を信州大学や関連団体等と連携して行い、伝統野菜の魅力を活かした地域振興を図ります。

## 3 第10次基本計画に掲げた「5つの重点目標」の主な取組み

(新規事業、 拡充事業、 子ども・若者対象事業) (単位:千円)

担当課	中事業名 (事務事業名)	区分	予算額				事業内容
			項目	H30	H29	比較	
1	<b>5つの重点目標</b>		<b>重点目標 経済の好循環の創出</b>				意欲ある農業の担い手や女性農業者を育成するため、認定農業者に対し農業機械等のリース・取得費及び女性農業者の研修受講等の活動費の一部を補助するもの [農政課分] 15,800千円 [西部農林課分] 9,600千円
	農政課・西部農林課	<b>【農林水産業費】</b>	歳出額 (特財)	25,400 (0)	15,400 (0)	10,000 (0)	
		農業者育成事業費 〔未来を担う農業経営者支援事業〕	現在値 (H28)	認定農業者数 491経営体(うち女性32)			
			目標値 (H31)	認定農業者数 525経営体(うち女性50)			
2	<b>5つの重点目標</b>		<b>重点目標 経済の好循環の創出</b>				伐期を迎えたカラマツに高い付加価値を与え、森林所有者及び生産者の収益の増加を図り、林業の発展を目指すもの [新規] ・住宅建築等への補助金の創設 1件当たり 10万円補助
	耕地林務課	<b>【農林水産業費】</b>	歳出額 (特財)	2,060 (0)	0 (0)	2,060 (0)	
		カラマツ材販路拡大事業費	現在値 (H29)	カラマツ材を使用した住宅建築等の補助件数(累計) 0件			
			目標値 (H32)	カラマツ材を使用した住宅建築等の補助件数(累計) 60件			
3	<b>5つの重点目標</b>		<b>重点目標 暮らしと生活の基盤づくり</b>				林道奈川安曇線蛭窪トンネルの覆工背面に空洞が確認されたことから、突発的な天井崩落を防ぐために裏込め注入工事を実施するもの ・H30年度施行予定 L=125m
	西部農林課	<b>【農林水産業費】</b>	歳出額 (特財)	78,850 (78,800)	28,740 (28,730)	50,110 (50,070)	
		補助林道整備事業費 〔林道奈川安曇線トンネル延命化事業〕	現在値 (H29)	補修対策詳細設計実施			
			目標値 (H32)	空洞裏込め注入工事完了			

#### 4 主要事業

( 新規事業、 拡充事業、 子ども・若者対象事業) (単位:千円)

担当課	中事業名 (事務事業名)	区分	予算額			事業内容	
			項目	H30	H29		比較
<b>(1) 農産物の高付加価値化による農業の活性化と需要の創出</b>							
4 農政課	【農林水産業費】 農畜産物マーケティング推進事業費 〔ブランド化推進事業〕		歳出額 (特財)	6,820 (0)	4,270 (0)	2,550 (0)	松本の農畜産物の差別化・付加価値化を進めるため、各種手法による産地ブランド化を推進・支援するもの 〔拡充〕 ・栄養機能食品のレポートリー化を探る成分分析 ・松本一本ねぎのGI取得調整・支援 ・産地プロモーション(伝統野菜等のパンフ、ポスター作成)
			現在値 (H27)	成分検査のみで商品化実績なし			
			目標値 (H31)	・栄養機能食品・機能性表示食品 5件 ・地理的表示(GI)取得 1件			
5 農政課	【農林水産業費】 6次産業化支援事業費		歳出額 (特財)	1,700 (0)	1,650 (0)	50 (0)	農産物の6次産業化による高付加価値化を実現するため、インパクトのある商品開発を促す仕組みづくりを行うもの 〔主な改正点〕 ・松本ものづくり産業支援センター等との連携強化 ・審査会方式による採択方式の導入 ・要綱の一部改正による新商品開発促進
			現在値 (H29)	開発した新商品の付加価値額(累計)0円 審査会で把握するもの			
			目標値 (H31)	開発した新商品の付加価値額(累計)2,500万円 審査会で把握するもの			
<b>(3) 伝統野菜等のブランド化による地域振興</b>							
6 西部農林課	【農林水産業費】 農畜産物マーケティング推進事業費 〔奈川産食材ブランド化推進事業〕		歳出額 (特財)	5,480 (5,000)	6,370 (5,000)	890 (0)	奈川産食材のブランド化を図り、奈川地区の地域振興を推進するため、奈川そば、えごま等の生産拡大、商品開発及び消費拡大に取り組むもの 〔拡充〕パッケージ商品の開発
			現在値 (H29)	奈川産農産物の商品開発(累計)5品目			
			目標値 (H31)	奈川産農産物の商品開発(累計)6品目			
7 西部農林課	【農林水産業費】 農畜産物マーケティング推進事業費 〔特産品ブランド化推進事業〕		歳出額 (特財)	530 (0)	530 (0)	0 (0)	信州の伝統野菜である「保平蕪」「稻核菜」「番所きゅうり」、乗鞍高原特産の「ガニ豆」のブランド価値を高め、伝統野菜など希少野菜の魅力を生かした地域振興を推進するため、優良品種の選抜、周知PR等に取り組むもの 〔拡大〕商品開発とPRイベントの地元団体への委託
			現在値 (H29)	信州伝統野菜の栽培面積(拡大分)190a			
			目標値 (H31)	信州伝統野菜の栽培面積(拡大分)348a			
<b>(4) その他事業</b>							
8 耕地林務課	【農林水産業費】 松くい虫対策事業費		歳出額 (特財)	157,010 (84,070)	149,820 (81,140)	7,190 (2,930)	松くい虫による松枯れ被害のまん延を防ぐため、伐倒駆除、薬剤散布及び更新伐等を実施するもの
			現在値 (H29)	伐倒駆除による材積量 3,574m <sup>3</sup> /年			
			目標値 (H32)	伐倒駆除による材積量 4,000m <sup>3</sup> /年			
9 耕地林務課・西部農林課	【農林水産業費】 多面的機能支払交付金事業費		歳出額 (特財)	258,940 (194,320)	254,430 (190,930)	4,510 (3,390)	農業・農村が有する、国土保全、水源かん養や景観形成などの多面的機能の維持・増進を図るため、農業者等が共同して取り組む地域活動や地域資源(農地、水路、農道等)の質的向上を図るための活動に対して支援するもの
			現在値 (H29)	活動組織数 52組織、取組面積 3,980ha			
			目標値 (H31)	活動組織数 56組織、取組面積 4,356ha			

# 商工観光部 平成30年度当初予算のポイント

## 1 予算額（一般会計）

(単位:千円、%)

30年度当初予算額	29年度当初予算額	増減額	増減率
3,825,880	4,430,010	604,130	13.6

人件費を除く額

## 2 「健康寿命延伸都市・松本」の推進施策

<b>(1) 雇用の場の創出</b>
地域に根差した産業（企業）の育成・創設による雇用の場の創出を図ります。
<b>(2) 松本の魅力向上</b>
観光産業の活性化や地域名産品などのブランド化による松本の魅力向上と発信を図ります。
<b>(3) 中心市街地の賑わいの創出</b>
個店・商店街への積極的な支援による中心市街地の活性化を図ります。

## 3 第10次基本計画に掲げた「5つの重点目標」の主な取組み

(新規事業、拡充事業、子ども・若者対象事業) (単位:千円)

担当課	中事業名 (事務事業名)	区分	予算額				事業内容
			項目	H30	H29	比較	
1 商工課	5つの重点目標		重点目標 経済の好循環の創出				新たな工業ビジョンのもと、機能強化された松本ものづくり産業支援センターを中心に産業振興を図るもの ・ものづくり産業の基盤強化、成長促進 ・松本市の特性を生かした新たな活力の創出 ・未来を担う人材育成、人材不足の克服 ・ICTによる地域産業振興
	【商工費】	歳出額 (特財)	36,190 (0)	19,880 (0)	16,310 (0)		
	産業創発支援事業費 (松本ものづくり産業支援センター補助金)	現在値 (H27)	工業製品出荷額 4,894億円				
		目標値 (H39)	工業製品出荷額 6,206億円 (H34(中間見直し) 5,621億円)				
2 商工課	5つの重点目標		重点目標 経済の好循環の創出				先端のICT人材、情報セキュリティ人材等の将来的な不足に備えるため、松本地域においてICT人材を育成し、ビジネスの創出・誘致を図るもの ・ICT拠点施設設計 ・コーディネート業務委託 ・テレワーク業務発注システム構築 ・サテライトオフィスへの企業誘致
	【商工費】	歳出額 (特財)	30,110 (15,000)	6,590 (3,290)	23,520 (11,710)		
	産業創発支援事業費 (ICT活用地域産業振興事業)	現在値 (H27)	工業製品出荷額 4,894億円				
		目標値 (H39)	工業製品出荷額 6,206億円 (H34(中間見直し) 5,621億円)				
3 健康産業・企業立地課	5つの重点目標		重点目標 経済の好循環の創出				・松本ヘルスバレー構想の両輪となる「市民の健康増進」と「ヘルスケア産業の創出・育成」を推進するため、「松本ヘルス・ラボ」を運営し、松本発製品の企画やモニタリング調査を行うもの ・健康経営を切り口に、企業・団体が加入する「法人会員制度」を創設するもの
	【商工費】	歳出額 (特財)	28,700 (14,350)	25,370 (12,680)	3,330 (1,670)		
	健康産業市民協働促進事業費 (松本ヘルス・ラボ支援事業)	現在値 (H29)	会員数 550人、企業との連携事業 5件				
		目標値 (H31)	会員数 1,200人、企業との連携事業 3件				

## 4 主要事業

( 新規事業、 拡充事業、 子ども・若者対象事業) (単位:千円)

担当課	中事業名 (事務事業名)	区分	予算額			事業内容		
			項目	H30	H29		比較	
<b>(1) 雇用の場の創出</b>								
4 労政課	【労働費】 雇用対策事業費 〔コワーキングスペース活用型人材育成事業〕		歳出額 (特財)	3,750 (1,870)	3,700 (1,850)	50 (20)	離職中の女性が子育てをしながら就業できることを目指し、コワーキングスペースを活用してITスキルの向上研修を行い、就労に繋げるもの [受講生] 1クール16人×2回=32人 (H29年度比 ±0人)	
			現在値 (H29)	在宅ワーカー登録者 38人				
			目標値 (H31)	在宅ワーカー登録者 112人				
5 労政課	【労働費】 勤労者福祉事業費 〔健康経営促進事業〕		歳出額 (特財)	620 (0)	0 (0)	620 (0)	企業が従業員の健康づくりを積極的に推進する「健康経営」の積極的な取組みを促すため、セミナーの開催をきっかけとする個別啓発を松本市勤労者共済会との連携で行うもの	
			現在値 (H29)	健康経営に取り組む企業 18社				
			目標値 (H31)	健康経営に取り組む企業 100社				
<b>(2) 松本の魅力向上</b>								
6 観光温泉課	【商工費】 観光宣伝事業費 〔ウィンターフェスティバル事業〕		歳出額 (特財)	13,000 (0)	12,860 (0)	140 (0)	冬の魅力を訴求するため、氷彫フェスティバルを中心に冬期の各イベント、イルミネーション等を運動させ、「氷彫」×「光」×「食」をテーマに総合的なプロモーションを実施するとともに、情報発信の強化により松本の冬の魅力を発信し、より「質」の高い観光を提供するもの	
			現在値 (H29)	氷彫フェスティバル2018来場者数 38,786人				
			目標値 (H31)	氷彫フェスティバル2020世界大会開催				
7 観光温泉課	【商工費】 観光宣伝事業費 〔観光ホスピタリティカレッジ運営事業〕		歳出額 (特財)	3,940 (0)	1,390 (0)	2,550 (0)	観光案内の需要増加や外国人観光客の増加に伴う受入環境整備の一環として、ボランティアガイドを始めとしたガイド希望者、観光事業者、一般市民を対象に学習講座を実施し、観光ガイドのスキル向上によるおもてなし人材の育成を図るもの	
			現在値 (H28)	講座4回、受講者320人				
			目標値 (H30)	ガイド育成をメインにした専門講座を実施し、受講後の具体的な活動に繋げる				
<b>(3) 中心市街地の賑わいの創出</b>								
8 商工課	【市街地駐車場事業特別会計】 松本城大手門駐車場平面式駐車場整備事業費		歳出額 (特財)	319,530 (300,680)	640 (0)	318,890 (300,680)	松本城大手門駐車場敷地を基幹博物館建設地としたことに伴い、解体する松本城大手門駐車場の代替施設として、大型車両対応の新たな平面式駐車場を整備するもの ・駐車場整備工事 ・管理棟新築工事 ・市道1056号線交差点改良工事	
			現在値 (H28)	平面式駐車場利用実績 6,105台				
			目標値 (H30)	平面式駐車場利用実績 6,268台				
<b>(4) その他事業</b>								
9 商工課	【商工費】 商業振興事業費 〔新商業ビジョン策定事業〕		歳出額 (特財)	2,500 (0)	0 (0)	2,500 (0)	現行の商業ビジョンが平成30年度に終期を迎えるため、10年後の目指すべき方向性を定めた次期商業ビジョンを策定するもの ・現行ビジョンの評価・検証 ・基礎統計調査	
			現在値 (H26)	小売業年間商品販売額 2,833億円				
			目標値 (H32)	小売業年間商品販売額 3,200億円				



# 建設部 平成30年度当初予算のポイント

## 1 予算額（一般会計）

(単位:千円、%)

30年度当初予算額	29年度当初予算額	増減額	増減率
7,010,160	5,669,930	1,340,230	23.6

人件費を除く額

## 2 「健康寿命延伸都市・松本」の推進施策

<p><b>(1) コンパクトで魅力と活力にあふれたまちづくり</b></p> <p>村井駅周辺地区、松本城三の丸地区の整備計画を進めるなどにより、立地適正化計画を具現化します。</p>
<p><b>(2) 歩行者・自転車・公共交通を優先した交通のまちづくり</b></p> <p>タウンスニーカーの運行、バスロケーションシステムの導入などにより、車を優先した社会からの転換を進めます。</p>
<p><b>(3) 快適で人に優しい道路環境整備</b></p> <p>幹線道路・生活道路の整備、及び、道路・橋りょうなど既存インフラの適切な維持管理により、ゆとりを持って移動できる快適な道路環境の構築を進めます。</p>

## 3 第10次基本計画に掲げた「5つの重点目標」の主な取組み

(新規事業、拡充事業、子ども・若者対象事業) (単位:千円)

担当課	中事業名 (事務事業名)	区分	予算額				事業内容
			項目	H30	H29	比較	
1 城下町整備本部	5つの重点目標		重点目標 将来世代のためのハード整備				中心市街地の交通円滑化、隣接する広域避難地（松本城公園）への避難路としての都市機能確保、並びに、史跡松本城を中心とした賑わいの創出を図るもの ・H30年度 用地取得(5件)、移転補償 電線共同溝設計等
	【土木費】 松本城周辺整備事業費（都市再生） 〔内環状北線整備事業〕	歳出額（特財）	105,600 (102,880)	157,820 (154,180)	52,220 ( 51,300)	現在値 (H29) 用地取得率 60.6% 目標値 (H30) 用地取得率 70.1%	
		現在値 (H29)					
2 上高地対策課	5つの重点目標		重点目標 将来世代のためのハード整備				日本を代表する山岳景勝地である上高地を、全ての利用者が安全で安心して訪れることができるようにするため、「松本市上高地対策短期・中長期計画」に位置付けた対策事業を実施するもの ・H30年度 自然環境調査、道路設計 仮設道維持管理 他
	【土木費】 上高地対策事業費	歳出額（特財）	10,590 (0)	31,350 (0)	20,760 (0)	現在値 (H29) 管理用道路のルート選定のため、調査・設計及び関係機関協議を実施中 目標値 (H31) 管理用道路、車道橋等の整備に着手	
		現在値 (H29)					
3 住宅課	5つの重点目標		重点目標 健康ときずなづくり				若い世代から高齢者まで、互いに支え合い、生活に生きがいを感じられる仕組みづくりとして、新たに三世同居または近居を始める家族の住宅取得・リフォーム、引越費用等の一部を補助するもの
	【土木費】 三世代家族支援事業費	歳出額（特財）	13,000 (0)	13,000 (0)	0 (0)	現在値 (H29) 制度利用による同居・近居世帯 制度開始後 累計52件(H30.1末現在) 目標値 (H31) 制度利用による同居・近居世帯 制度開始後 累計120件	
		現在値 (H29)					

#### 4 主要事業

( 新規事業、 拡充事業、 子ども・若者対象事業) (単位:千円)

担当課	中事業名 (事務事業名)	区分	予算額			事業内容	
			項目	H30	H29		比較
<b>(1) コンパクトで魅力と活力にあふれたまちづくり</b>							
4 都市政策課	【土木費】 都市計画策定事業費 〔村井駅周辺整備〕		歳出額 (特財)	60,050 (2,370)	20,230 (4,500)	39,820 ( 2,130)	市南部地域の拠点である村井駅の利便性や安全性を高めるため、駅舎のバリアフリー化や、東西自由通路、駅前広場、周辺アクセス道路等の整備をするもの ・H30年度 駅施設概略設計 東側アクセス道路用地測量
			現在値 (H28)	村井駅利用者数 3,402人			
			目標値 (H32)	村井駅利用者数 3,600人			
<b>(2) 歩行者・自転車・公共交通を優先した交通のまちづくり</b>							
5 交通安全・都市交通課	【土木費】 周遊バス運行事業費		歳出額 (特財)	153,700 (4,200)	0 (0)	153,700 (4,200)	利用者の利便性向上のため市が実施主体となり、タウンズニーカーの運行間隔を短縮し本数を増便して運行するもの ・H30年度 東西南北全4コースについて、20～30分間隔の運行 案内人の配置、観光案内誌への広告掲載、バス車両の購入
			現在値 (H29)	年間利用者 201,426人(H29.12未現在) (前年度同期間101,469人)			
			目標値 (H30)	年間利用者 259,158人			
<b>(3) 快適で人に優しい道路環境整備</b>							
6 建設課	【土木費】 街路事業費(都市再生)		歳出額 (特財)	730,060 (693,500)	543,150 (518,600)	186,910 (174,900)	交通の円滑化及び安全安心な歩行空間を確保するため、南北幹線道路の街路2路線の整備を行うもの 〔中条白板線(巾上)〕 ・事業年度: H25～H32 総延長: 265m ・総事業費: 13億 400万円 〔中条白板線(白板)〕 ・事業年度: H29～H35 総延長: 120m ・総事業費: 13億4,423万円
			現在値 (H29)	事業着手箇所2 路線			
			目標値 (H30)	工事着手に向けた用地買収、補償及び電線共同溝の設計			
7 維持課	【土木費】 道路橋りょう維持補修事業費(防災安全) 〔舗装長寿命化事業〕		歳出額 (特財)	164,000 (82,500)	150,010 (82,500)	13,990 (0)	老朽化した幹線道路(全長335km)のうち、112kmについて「舗装長寿命化修繕計画」に基づき、計画的に修繕するもの。土質調査及び交通量調査により舗装状態を把握し、交付金を取り込みながら必要な修繕工事を実施するもの
			現在値 (H29)	道路舗装修繕率 0.5% (L=0.6km/112.0km)			
			目標値 (H31)	道路舗装修繕率 12.4% (L=13.9km/112.0km)			
<b>(4) その他事業</b>							
8 公園緑地課	【土木費】 小鳥と小動物の森管理費 〔大規模改修事業〕		歳出額 (特財)	6,280 (0)	0 (0)	6,280 (0)	老朽化が進んだアルプス公園の小鳥と小動物の森について、より親しみやすく観察しやすい施設とするため、展示方法の見直しを図り、施設の大規模改修を実施するもの ・H30年度 基本構想策定
			現在値 (H28)	来場者数 121,604人			
			目標値 (H35)	来場者数 180,000人			
9 建築指導課	【土木費】 建築物耐震補強促進事業費(防災安全) 〔建築物耐震補強促進事業〕		歳出額 (特財)	35,790 (23,970)	38,070 (26,250)	2,280 ( 2,280)	地震に対する建築物の安全性の向上、及び災害に強いまちづくりの推進を図るため、旧耐震基準の建築物の耐震診断や木造住宅の耐震改修工事に対する補助等を行うもの
			現在値 (H28)	住宅の耐震化率 82.2%			
			目標値 (H32)	住宅の耐震化率 90.0%			

# 上下水道局 平成30年度当初予算のポイント

## 1 予算額

(単位:千円、%)

30年度当初予算額	29年度当初予算額	増減額	増減率
20,172,730	19,990,550	182,180	0.9

## 2 「健康寿命延伸都市・松本」の推進施策

### (1) 水道水の安定供給

安全・安心でおいしい水の安定供給を行うため、主要水道施設の耐震化と老朽化した管路等の更新を計画的に進めます。

### (2) 下水道の適正な維持管理

清潔で快適な生活環境の確保と水質保全を図るため、下水道施設の更新と併せて耐震化を計画的に実施します。

### (3) 低炭素社会の推進

再生可能エネルギーの有効活用や省エネルギー設備の導入を促進し、低炭素社会の実現をめざします。

## 3 第10次基本計画に掲げた「5つの重点目標」の主な取組み

(新規事業、拡充事業、子ども・若者対象事業) (単位:千円)

担当課	中事業名 (事務事業名)	区分	予算額				事業内容
			項目	H30	H29	比較	
1 上水道課	5つの重点目標		重点目標 暮らしと生活の基盤づくり				小水力発電の導入により、再生可能エネルギーを有効活用し、売電による収益の確保及び低炭素社会の実現を推進するもの ・小水力発電設備設置工事(寿配水地) 他
	【水道事業会計】	歳出額(特財)	191,210 (0)	3,610 (0)	187,600 (0)		
	小水力発電事業	現在値(H29)	公募型プロポーザルによる受注候補者選定				
		目標値(H31)	電力会社との接続契約及び国の認定により発電(売電)開始				
2 下水道課	5つの重点目標		重点目標 暮らしと生活の基盤づくり				下水熱は、市街地において有望な再生可能エネルギーであることから、その利用の可能性について調査するもの ・下水熱利用調査委託料
	【下水道事業会計】	歳出額(特財)	4,820 (0)	0 (0)	4,820 (0)		
	下水熱利用可能性調査事業	現在値(H29)	下水熱利用の事例等について情報収集				
		目標値(H31)	下水熱ポテンシャルマップの公表及び利用者への情報提供				

## 4 主要事業

( 新規事業、 拡充事業、 子ども・若者対象事業) (単位:千円)

担当課	中事業名 (事務事業名)	区分	予算額			事業内容	
			項目	H30	H29		比較
<b>(1) 水道水の安定供給</b>							
3 上水道課	【水道事業会計】 上水道耐震化事業		歳出額 (特財)	554,810 (526,100)	267,370 (234,100)	287,440 (292,000)	大規模地震に備え、水道施設の被害を最小限に抑えるとともに、水道水が早期に供給できるよう、市街地の主要な水道施設を耐震化するもの ・並柳第2配水地配水池等耐震補強工事 ・島内第1水源地送水管耐震化工事 ・配水本管耐震化工事 他
			現在値 (H28)	主要施設耐震化率 17.6%(3/17カ所) 基幹管路耐震化率 33.4%			
			目標値 (H31)	主要施設耐震化率 29.4%(5/17カ所) 基幹管路耐震化率 34.6%			
4 上水道課	【水道事業会計】 老朽給・配水管改良事業		歳出額 (特財)	342,470 (93,200)	254,200 (60,000)	88,270 (33,200)	老朽化した配水管及び給水管を計画的かつ継続的に更新し、市民生活に重要なライフラインを維持するもの ・女鳥羽川・蟻ヶ崎3丁目老朽配水管改良工事 ・老朽給水管取替委託 他
			現在値 (H28)	老朽配水管更新率 72.7% 老朽給水管更新率 15.9%			
			目標値 (H31)	老朽配水管更新率 74.6% 老朽給水管更新率 24.1%			
<b>(2) 下水道の適正な維持管理</b>							
5 下水道課	【下水道事業会計】 下水道長寿命化事業		歳出額 (特財)	584,980 (525,300)	594,160 (527,320)	9,180 (2,020)	長寿命化計画等に基づき、老朽化が著しい主要な下水道施設を改築・更新するもの ・宮渕浄化センター受変電設備改築工事委託 ・両島浄化センター汚泥脱水機・汚泥棟受変電設備及び管理棟建築機械設備改築工事委託 ・管渠更生工事(本郷・合流区域) 他
			現在値 (H28)	宮渕・両島浄化センターで改築実施中 管渠長寿命化率 31.9%			
			目標値 (H31)	宮渕・両島浄化センターで改築継続 管渠長寿命化率 34.0%			
6 下水道課	【下水道事業会計】 下水道耐震化事業		歳出額 (特財)	122,600 (105,830)	158,300 (85,060)	35,700 (20,770)	大規模地震災害に備え、浄化センターの耐震補強と人孔及び管渠を耐震化するもの ・両島浄化センター管理棟耐震化工事委託 ・重要幹線管渠耐震化工事 他
			現在値 (H28)	宮渕浄化センター管理棟耐震化完了 管渠耐震化率 13.2%			
			目標値 (H31)	両島浄化センター管理棟耐震化完了 管渠耐震化率 18.5%			
7 下水道課	【下水道事業会計】 下水道革新的技術実証事業		歳出額 (特財)	1,710 (0)	190 (0)	1,520 (0)	国の制度を活用し、民間等と共同で下水処理能力を向上させる実証研究及び自主研究に取り組むことにより、更新投資の縮減をめざすもの ・委員会出席旅費、電気料
			現在値 (H29)	実証研究開始			
			目標値 (H31)	実証研究終了後、設備汎用化のためのガイドライン作成			

# 病院局 平成30年度当初予算のポイント

## 1 予算額

(単位:千円、%)

30年度当初予算額	29年度当初予算額	増減額	増減率
5,727,140	5,450,860	276,280	5.1

## 2 「健康寿命延伸都市・松本」の推進施策

### (1) 会田病院の診療所化に伴い、診療所予算を病院事業の予算に統合

会田病院基本方針に基づく診療所化に伴い、事務の効率化を図るため診療所予算を病院事業予算に統合し、継続して地域医療を支えていきます。

### (2) 資本的収支に病院建設事業を新設

市立病院の建設事業が設計段階へ進んでいくことから、資本的収支に病院事業を新設します。

## 3 第10次基本計画に掲げた「5つの重点目標」の主な取組み

(新規事業、 拡充事業、 子ども・若者対象事業) (単位:千円)

担当課	中事業名 (事務事業名)	区分	予算額			事業内容
			項目	H30	H29	
1 松本市立病院	5つの重点目標		重点目標 将来世代のためのハード整備			
	【病院事業会計】	歳出額 (特財)	73,860 (0)	0 (0)	73,860 (0)	病院建設に係る、基本設計及び移転候補地の地質調査を実施するもの [全体計画] H30年度 基本設計 H31年度 実施設計 H32～34年度 建設工事 H34年10月 病院開院
	市立病院建設事業費 (基本設計)	現在値 (H29)	基本計画策定			
		目標値 (H34)	新病院開院			
2 松本市立病院	5つの重点目標		重点目標 将来世代のためのハード整備			
	【病院事業会計】	歳出額 (特財)	37,040 (0)	0 (0)	37,040 (0)	建設事業を効率的に進めるため、専門部署を設置し、人員を配置するもの [事務体制] 2人 4人
	市立病院建設事業費 (人員体制の強化)	現在値 (H29)	基本計画策定			
		目標値 (H34)	新病院開院			

#### 4 主要事業

(新規事業、 拡充事業、 子ども・若者対象事業) (単位:千円)

担当課	中事業名 (事務事業名)	区分	予算額			事業内容	
			項目	H30	H29		比較
<b>(1) 会田病院の診療所化に伴い、診療所予算を病院事業の予算に統合</b>							
3	会田病院	【病院事業会計】	歳出額 (特財)	278,120 (0)	0 (0)	278,120 (0)	会田病院基本方針に基づく診療所化に伴い、事務の効率化を図るため診療所予算を病院事業予算に統合し、継続して地域医療を支えていくもの
		診療所事業費	現在値 (H29)	会田病院として運営			
			目標値 (H30)	診療所として運営			

# 教育部 平成30年度当初予算のポイント

## 1 予算額（一般会計）

(単位:千円、%)

30年度当初予算額	29年度当初予算額	増減額	増減率
5,574,820	5,318,240	256,580	4.8

人件費を除く額

## 2 「健康寿命延伸都市・松本」の推進施策

<b>(1) 子どもたちの学びの場の充実</b>
子どもたちが主体的に考え、学び、活動するため、科学に興味を持つ機会や教育のICT化を進めます。
<b>(2) 松本城を中心としたまちづくり</b>
松本市のシンボルである松本城を、後世に守り伝え、城下町の歴史や魅力を生かしたまちづくりを進めます。
<b>(3) 歴史や文化を活かしたまちづくり</b>
地域の文化財を地域づくりに活用するとともに、文化芸術に親しむ環境を整備し、学都松本の推進を図ります。

## 3 第10次基本計画に掲げた「5つの重点目標」の主な取組み

(新規事業、拡充事業、子ども・若者対象事業) (単位:千円)

担当課	中事業名 (事務事業名)	区分	予算額				事業内容
			項目	H30	H29	比較	
1 博物館	5つの重点目標		重点目標 将来世代のためのハード整備				国史跡内に位置し、築50年が経過した市立博物館を、松本城南・西外堀復元事業に併せ、松本城大手門駐車場敷地に「松本まるごと博物館」の中核施設（基幹博物館）として移転改築するもの [全体計画]平成28～34年度 [概算工事費]約73億2千万円
	【教育費】	歳出額 (特財)	354,820 (350,000)	142,170 (110,000)	212,650 (240,000)		
	基幹博物館整備事業費	現在値 (H29)	基本設計を完了				
		目標値 (H34)	開館予定				
2 教育政策課	5つの重点目標		重点目標 次世代を育むまちづくり				次代を担う子どもたちが、科学や理科の体験を通じて、自然科学の楽しさに気付き、好奇心を育むことができるよう「宇宙と科学」に特化した新科学館として整備するもの ・H30年度 基本構想策定、劣化度調査 ・H30～31年度 基本設計 【債務負担行為】44,380千円
	【教育費】	歳出額 (特財)	23,820 (0)	0 (0)	23,820 (0)		
	新科学館整備事業費 〔新科学館整備事業〕	現在値 (H29)	施設構想策定委員会を設置				
		目標値 (H35)	開館予定				
3 学校指導課	5つの重点目標		重点目標 次世代を育むまちづくり				障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みをつくるため、関係機関と連携し、松本市で導入可能な施策について検討するもの ・H30年度 (仮称)松本市特別支援教育推進協議会の設置、検討結果の提言 教職員等を対象に研修会を実施
	【教育費】	歳出額 (特財)	290 (0)	0 (0)	290 (0)		
	特別支援教育推進費 〔インクルーシブ教育推進事業〕	現在値 (H29)	「教育相談実務者研究会」を組織 (庁内関係課と市内4校特別支援学校)				
		目標値 (H30)	平成30年度中に教育長へ提言書を提出				

## 4 主要事業

( 新規事業、 拡充事業、 子ども・若者対象事業) (単位:千円)

担当課	中事業名 (事務事業名)	区分	予算額			事業内容	
			項目	H30	H29		比較
<b>(1) 子どもたちの学びの場の充実</b>							
4 教育政策課	【教育費】 新科学館整備事業費 〔プラネタリウム投 映機器更新事業〕		歳出額 (特財)	1,250 (0)	0 (0)	1,250 (0)	光学式とデジタル式の統合型プラネタ リウムに更新するもの 〔拡充〕 児童・生徒及び市民が利用できる番組 制作機能を新たに追加 ・H30年度 プロポーザル方式による業者選定 【債務負担行為】191,200千円 ・H31年4月 供用開始
			現在値 (H28)	プラネタリウム利用者数 12,445人			
			目標値 (H31)	プラネタリウム利用者数 20,000人			
5 学校教育課	【教育費】 学校教育情報化推進 計画策定事業費		歳出額 (特財)	5,490 (0)	0 (0)	5,490 (0)	学校教育の目的・ビジョンに添った計 画を策定し、ICT環境の段階的な整備 を進め、質の高い学習環境を目指すもの ・H30年度 推進計画策定委員会の設置(年6回) 先進自治体の視察 推進計画の策定
			現在値 (H29)	松本市新情報基本計画を策定 第2次松本市教育振興基本計画を策定			
			目標値 (H30)	学校教育情報化推進計画を策定			
<b>(2) 松本城を中心としたまちづくり</b>							
6 松本城管理事務所	【教育費】 南・西外堀復元事業 費		歳出額 (特財)	258,450 (258,450)	285,020 (285,020)	26,570 ( 26,570)	「松本城およびその周辺整備計画」及 び「松本市歴史的風致維持向上計画」に 基づき、都市計画道路内環状北線整備事 業と一体的に南・西外堀を復元するもの ・復元事業用地の取得 ・復元に向けた発掘調査の実施
			現在値 (H29)	事業用地取得率 48.6%			
			目標値 (H30)	事業用地取得率 56.9%			
7 松本城管理事務所	【松本城特別会計】 国宝松本城天守耐震 対策事業費		歳出額 (特財)	23,150 (20,730)	19,660 (0)	3,490 (20,730)	平成26～28年度に実施した松本城天守 耐震診断の結果をもとに、補強内容の検 討、防災設備の見直し、避難誘導計画の 立案、展示の見直しを行い、補強工事を 実施するもの ・国宝松本城天守耐震対策専門委員会で 耐震対策基本計画を検討
			現在値 (H29)	耐震対策基本計画策定に着手			
			目標値 (H30)	耐震対策基本計画の検討			
<b>(3) 歴史や文化を活かしたまちづくり</b>							
8 文化財課	【教育費】 歴史文化基本構想策 定事業費		歳出額 (特財)	3,480 (3,040)	1,520 (1,520)	1,960 (1,520)	平成29年度に策定した「松本市歴史文 化基本構想」に基づき、具体的な保存・ 活用する方法について検討するもの ・H30年度 歴史文化基本構想冊子の刊行 シンポジウムの開催 (仮称)まつもと文化遺産保存活用協議 会の設置
			現在値 (H29)	まつもと文化遺産の認定件数 0件			
			目標値 (H31)	まつもと文化遺産の認定件数 5件			
9 美術館	【教育費】 美術館管理運営費 〔大規模改修事業〕		歳出額 (特財)	6,160 (0)	0 (0)	6,160 (0)	平成34年度の開館20周年を見据え、老 朽化した設備機器の大規模改修を行うもの ・H30年度 基本調査 ・H31年度 基本設計 ・H32年度 実施設計 ・H33年度 大規模改修
			現在値 (H29)	開館15年目			
			目標値 (H33)	設備機器の大規模改修を完了			